

福崎町第5次総合計画後期基本計画（素案）に対する意見募集結果（意見概要と町の考え方等）

※頁番号は、福崎町第5次総合計画後期基本計画(素案)のページ番号を示しています。

No.	構想・計画	頁	箇所	意見内容	町の考え方・対応等
1	全体			町民の立場から考えられている案なのでとてもいいと思います。教育に力を注いでもらっていることがよくわかりました。	総合計画の策定作業において、アンケートの実施やまちづくり委員会を設置するなど町民意見を把握し、計画への反映に努めながら作業を進めてまいりました。 今後も町民と行政との参画と協働を推進し、町民目線での計画の策定に努めてまいります。
2	構想	P4	1-2将来人口	福崎”つながり人”の維持と増加を目指して、取るべく諸策の整理と構築が必要と思います。 (住宅環境・子育て支援・高齢者対策・交通網の整備等)	本町では、中学3年生までの医療費の無料化や学童保育の時間延長等の子育て支援の充実、市街化調整区域では地縁者住宅が建築できる特別指定区域制度の推進、また、福崎駅周辺整備に併せ福崎駅前と辻川地区に観光交流センターの建設を進めるなど、総合計画のまちの将来像にある「住む、学ぶ、働く」の3機能が調和のとれているまちを目指し取り組んでいます。 今後も総合計画に基づき各施策を展開し、まちの将来像の実現と福崎”つながり人”のさらなる増加を目指します。
3	構想	P8～9	土地利用概念図	土地利用概念図がカラーではないので文化ゾーン3ヵ所が少しわかりづらいように思います。	情報公開コーナーに設置していましたが意見募集用冊子の資料はモノクロ印刷で分かりにくいものとなってしまっており大変申し訳ございませんでした。意見募集結果には、福崎町第5次総合計画後期基本計画（案）を添付し、カラーで土地利用概念図を表記しておりますのでご確認ください。
4	計画全体			基本計画では、各取り組み項目が列記されていますが、目標値が必要な気がします。基本構想で策定された期限を過ぎて振り返った時に、何をもって評価するのか不明です。うまく進めることが出来たのか、また更なる改革・改良が必要となるのかがこの表現では良くわかりません。	総合計画の検証につきましては、各取り組みから構成される施策に「めざそう値」という目標値をできる限り設定し、その取り組みと目標値について毎年度決算報告書という形で評価を行っています。 また、今回の計画見直し時におきましても、前期基本計画の評価を行ったうえで、後期基本計画の策定作業を進めているところです。
5	計画	P28～29 P32～33	2-1就学前教育・保育 2-3子育て支援	ワークライフバランスの充実による、安心して仕事と子育てにまい進できる方策の確立が必要だと思います。	平成28年3月に策定した福崎町男女共同参画基本計画において、ワークライフバランスに関する取り組み項目の記載があり、町民・企業・行政にそれぞれの役割等が示されています。 今後、本計画に基づき各主体に対して意識啓発の推進に努めてまいります。
6	計画	P32～33	2-3子育て支援	乳幼児交流促進事業により育児サークルの活動を新たに作る。 (民間主体で新たに建設中の観光交流センターなどで実施。保育免許は必要かと思えます。)	現在、子育て支援施設の1つである西部子育て学習センターにおいて子育てグループの育成と支援を行っており、毎年多くの親子が参加され、子どもの年齢に応じた3つのグループが組織され活動中ですので一度お問い合わせください。
7	計画	P36～37	2-5生涯学習	生涯学習において、老人大学だけでなく、40・50・60代を対象にしたシニアライフアップ校（仮称）の立ち上げを希望します。 (子育て・孫育てをする人の知識力向上のため。)	生涯学習の取り組みとして、老人大学のほか、だれもが参加できる「さるびあセミナー」も開催していますので、その中のテーマの一つとして検討します。
8	計画	P46～47	3-2循環型社会	ごみの減量化の推進策としてのマイバック持参運動を広める。	マイバック持参運動につきましては、まずは一人ひとりの意識付けが大切です。引き続き、マイバック持参運動を加えたごみの減量化や環境保全の対策につきまして広報誌等により周知を行い、意識の啓発を図ってまいります。
9	計画	P50～51	3-4防災・減災	防災無線が聞こえにくいので、スピーカーの向きや音量の改善をお願いします。	防災無線につきましては、町内全域をカバーするため最も適切な位置・方向等で設置しております。微調整は可能かもしれませんが、大きく向きを変えることは他に影響することも予想されるため困難です。 福崎町では、防災行政無線の放送内容（火災放送は除く）を電子メールで配信する「お知らせシステム」の運用を行っていますので登録ください。
10	計画	P62～65	4-2地域福祉 4-3高齢者福祉	この章を肉付けして具体策の説明が必要ではないでしょうか。 (特に、P62・63の施策は肉付けが必要)	まちづくりを進める上での中長期的な指針となる総合計画は、町の将来像とその実現のための施策を取りまとめたものとなります。 具体的な取り組みなどにつきましては、個別計画等でお示しすることになっています。
11	計画	P70～71	5-1農林業	5-1農林業の「住民等の取り組み例」を関係機関で協議し一つ一つ解決する具体的な工程表作りが必要ではないでしょうか。	農業でもって、地域の環境を守っていただいています。具体的には、「人・農地プラン」「多面的機能支払交付金事業」にそれぞれの集落で取り組んでいただいています。 今後は、後継者問題や広域化を視野に入れた取り組みが必要と考えます。 農業委員会・農会長会の合同研修も予定しており、回を重ねながら課題を明確化して、解決に向けた方策に取り組んでいきます。

No.	構想・計画	頁	箇所	意見内容	町の考え方・対応等
12	計画	P74 ～ 75	5-3観光	観光客が楽しめるものが少ない。辻川山の河童や天狗を目当てに結構な人数が訪れているが、このほかに目を引くものがほとんどない。折角来てもらっても、日本人が好む「お土産もの」「グッズ」を売る店もなく、これでは楽しんでお金を使ってもらえず、町は潤わない。 せめて多少の「お店」があって、買い物をしてもえらえるよう整備すべきではないでしょうか。 「銀の馬車道」のHPにある意見では、買い物をしたくても何もないとのコメントが見られるので、「土産物屋」「スイーツの店」「軽食の店」などを誘致できないのでしょうか。	現在、福崎駅前と辻川地区に観光交流センターを建設しており、観光案内や情報発信に加え飲食の提供や憩いと交流の場としての活用を図ります。 また、三木家住宅の副屋や旧辻川郵便局においても宿泊施設やブックカフェとして管理運営する予定です。
13	計画	P74 ～ 75	5-3観光	設置された「妖怪」を活用した、妖怪めぐりスタンプラリーなども面白いかも知れません。	現在、スマートフォンを活用した妖怪を絡めたスタンプラリーの実施に向けて取り組みを進めているところです。
14	計画	P74 ～ 75	5-3観光	JRなどともコラボレーションした観光 福崎町の鬼追い、秋祭り、歩こう大会などをJR西日本と共催してアピールできないでしょうか。JR東海の「さわやかウォーキング」のように町のイベントに合わせてJRが駅で案内マップなどを用意し、完歩した場合にはスタンプ・記念品を提供するものです。 福崎町に限定せず、市川町、神河町、姫路市、朝来市などのイベントや「銀の馬車道」を売りにした新たなイベントなども効果があるものと思います。 JRと町がWin-Win になるのではないかと思います。	現在、JR福崎駅で駅職員が作成した妖怪ベンチマップを駅構内に設置し、福崎町の観光PRを行っていただいております。 今後につきましても、JRを含めた各種団体等と連携するなど、参画と協働によるまちの活性化に資する取り組みを行います。
15	計画	P74 ～ 75	5-3観光	「銀の馬車道」の取り組みに参加している市町を越えた連携を継続していただき、成果等を福崎駅前にできる観光交流センターで展示していただきたい。 様々な場所で「銀の馬車道」のイベントが企画されているので、福崎町も是非人が集まる楽しい定期的な機会があればと願っています。	現在、銀の馬車道ネットワーク協議会や日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会において官民連携で広域的な取り組みを行っています。 今後、福崎駅前と辻川地区に整備中の観光交流センターにおいても周知に向けた取り組みを展開していきます。
16	計画	P74 ～ 75	5-3観光	福崎町に来て初めて妖怪を見られた時、「なぜ、ここに妖怪が・・・？」と思われるのではないでしょうか。（妖怪そのものはおもしろいが。） 他に妖怪を含めて町全体としてのストーリー性のようなものがあればいいと思います。ベンチのそばに説明書を置き、分かりやすくしてはどうでしょうか。（説明パンフレットが手に入らない人もあるようです。）	福崎町を生誕の地とする民俗学者 柳田國男の著書にちなんだ妖怪をテーマとしてまちづくりを進めているところです。池から飛び出すガジロウの池のほわりには、その伝説を記した看板を設置するなど妖怪に関する説明の周知に取り組んでいるところです。 今後は、妖怪ベンチマップの一部に福崎町と妖怪の関係について説明を加えるなど、更なる周知に努めます。
17	計画	P76 ～ 77	6-1道路・交通	道路の幅員狭小道路について、早急に対策を進めてほしいものです。場所は福崎警察東交番から田尻交差点までの200mの区間です。町外の通行車両が増加しています。通勤者の苦情が多数です。	現地の道路を拡幅しようとすると、空き家や更地になっている箇所もありますが、家屋を所有している方にご協力を頂かなくてはなりません。 また、住宅の補償には多額の予算が必要ですので、部分的に買収するのではなく、整備計画をたて国庫補助金などを活用して整備すべきと考えますが、現在のところ、早期実現は困難です。
18	計画	P86 ～ 87	6-6住宅	福崎”つながり人”等へのアピールとして、すでに医療費は中学生まで無料、待機児童が皆無等のメリットにプラスして、空き家利用の人に対する補助策を考えて、定住策を図って行く等が必要ではないでしょうか。	福崎町の空き家利活用の対策として、ホームページで町内の空き家物件を紹介する「空き家バンクシステム」により情報発信を行っておりますが、空き家利用を促進する補助施策は行っていません。現在、福崎駅周辺整備事業の推進などによるまちの利便性及び魅力向上に努めており、町外の方々にも「訪れたい、住んでみたい」と思ってもらえるまちづくりに取り組んでいます。 今後につきましても、魅力的なまちづくりの推進に努めて、福崎”つながり人”の増加を図ってまいります。
19	その他			現子育て広場事業を広く広報する。	ご指摘のありました「まちの子育てひろば」事業は福崎町社会福祉協議会の事業です。社会福祉協議会では周知方法として、毎月発行している「まちの子育てひろば」の予定表を子育て支援施設、保健センター、八千種研修センター、健康福祉課、学校教育課に設置し広報しております。 ご意見につきましては、社会福祉協議会へお伝えします。
20	その他			町内の観光に伴う看板に辻川山公園の学問成就の道として「北野天満神社」となっている観光案内もありますが、「北野天満宮」が正しい呼び名です。「天満宮」こそ学問成就の神様です。教育委員会担当者でご検討をお願いします。	兵庫県神社庁のホームページには「天満神社」とあり、通称名として「北野天満宮」とあります。福崎町史においても「北野の天満神社」と記載していますので、「北野天満神社」と表記しています。
21	その他			私事ですが子供が中播福祉会にお世話頂いて居ります。市川町の河川敷にある中播福祉会「いちかわ園」の豪雨被害が懸念されます。福崎町の「いちかわ園」の水害浸水危険区域についての問題解決の方針を明示して頂きたいと望んでいます。	中播福祉会では、「非常災害対策計画」を策定し、ご心配の案件について対応しています。詳細につきましては、中播福祉会へお問い合わせください。